

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年7月6日（月）～平成27年7月12日（日）〔第28週〕の感染症発生状況

第28週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は10.85人と前週（7.97人）より増加し、例年に比べ高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.61人と前週（7.00人）とほぼ横ばいですが、例年に比べ高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.27人と前週（3.12人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



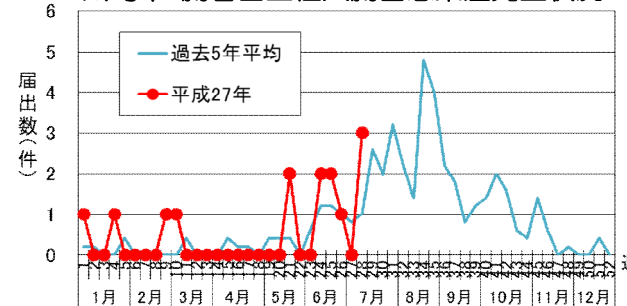
## 腸管出血性大腸菌感染症に御用心！！

全国的に腸管出血性大腸菌感染症（O157など）の届出数が増加しており、川崎市でも5月下旬以降、計10件の届出がありました。腸管出血性大腸菌は、35～40℃で最も増殖が活発になり、患者数は例年8月頃に最も多くなりますので、注意しましょう。

### ～予防のポイント～

- ① 生野菜などはよく洗い、肉は中心部まで十分加熱（75℃で1分以上）してから食べましょう。
- ② 調理器具は十分に洗浄するとともに、熱湯や塩素系消毒剤で消毒しましょう。
- ③ 調理や食事の前には必ず手を洗きましょう。
- ④ 患者の便が付着した下着等は家族のものとは別に洗濯するなど、取扱いに注意しましょう。

川崎市 腸管出血性大腸菌感染症発生状況



### ～主な感染経路～

